

## 下水道モデル事業等事後調査

全体期間

1994. 12～1996. 3

本文 41P～ 47P

## (目的)

現在、下水道事業において様々な下水道モデル事業等が実施されている。うるおいのある水辺を提供し、良好な都市景観の形成を図ることを目的としたもの、下水処理水や汚泥の再利用により資源の有効活用を図るもの、快適で安全なまちづくりに資するもの、新しい経済的な方式を取り入れたものなど、その数は現在14種類にのぼっている。

下水道モデル事業等は従来の下水道事業と違って、地域住民のより身近なところでその効果が早期に現れることから、下水道に対する地域住民の認識や関心の高まりに効果があるものと期待されている。

本調査は、下水道モデル事業等を実施している自治体に対しアンケート調査を行い、事業の効果の達成状況、事業を実施する上での問題点等を整理し、下水道モデル事業等のあり方や新たな下水道モデル事業等の提案を行う上での基礎資料とすることを目的として実施した。

## (結果)

## (1) アンケート結果及び評価

現在実施中の下水道モデル事業526ヶ所の中から、①事業完了後3年以上経過しており、事業効果の達成状況が把握できるもの、②地域的に偏りがないように全国の事業に対象とする、③事業規模が異なるものを含んでいる、④特色ある事業を行っているという条件により、38ヶ所の事業を絞り込んだ。アンケート結果及びその評価を以下に示す。

1) 約9割のモデル事業が所期の効果を達成できたとの回答があった。

2) 事業内容別に検討すると、「省エネルギー」、「節水型都市づくり」が他とくらべて達成度が高く、一方、「水生生物の復活」、「浸水の解消」は50～60%と幾分低かった。モデル事業別に検討すると、「水循環・再生下水道モデル事業」と「アイデア下水道」の達成度が90%程度と高かった。これは、事業効果の達成状況は、いずれのモデル事業についてもある程度達成できてはいるが事業効果の種類によっては、効果の発現の度合いに差が生じているといえる。

## (2) 技術面及び制度面での今後の課題

アンケート調査に基づく今後の課題を、技術面と制度面に分けて整理した。

## ● 技術面の今後の課題

①高度処理、②維持管理、③住民の啓蒙・住民との協調がすべてのモデル事業の今後の課題である。個々のモデル事業に対して、④雨水対策、⑤自然環境の回復・環境との調和、⑥資源の有効利用、⑦効率の促進等が今後の課題となる。アイデア下水道事業、アピール下水道事業は、課題に種類が多くなっており、事業内容が多岐にわたっているモデル事業は、それだけ課題もより多く抱えている。

## ● 制度面の今後の課題

アンケート調査より共に、モデル事業を進める上で苦労した点やモデル事業に対する要望にあげられている内容を整理して、制度面の課題を以下に示した。

## 1) 他機関との調整

①河川管理者および関連省庁との協議の円滑化

②既存事業との協調（執行体制づくり）

## 2) 事業費の確保

①国庫補助対象範囲の拡大

・モデル事業の内容に応じた特例化

・地域性の考慮

・用地確保

②補助率のアップ

## 3) 手続きの簡素化

日本下水道事業団受託研究

研究担当者：中尾 正和、堀尾 芳弘、林 和生

キーワード

モデル事業、アンケート調査、現状の把握、今後の課題